

用語解説

ASP

Application Service Provider の略。ビジネス用アプリケーションソフトをインターネットを通じて顧客に提供する事業者。

BPR（業務改革）

Business Process Reengineering の略。企業競争力向上を目的に、企業活動に関する目標（売上高、収益率など）を設定し、それを達成するために業務内容や業務の流れ、組織構造を分析し、最適化することによって、業務プロセスを抜本的に構築すること。組織や事業の合理化が伴うため、高度な情報システムを取り入れる場合が多い。

CGM（消費者生成型メディア）

Consumer Generated Media の略。インターネット等を活用して利用者が自ら情報を発信するメディアの総称。

CIO

Chief Information Officer の略。組織における情報戦略を考え、実現する責任者。

GPS（全地球測位システム）

Global Positioning System の略。米国が打ち上げた高度約2万kmの6つの円軌道に4つずつ配された人工衛星からの電波を利用し、正確な軌道と時刻情報を取得することにより、現在位置の緯度、経度、高度などを数十mの精度で割り出すことができるシステム。

ICT（情報通信）

Information & Communications Technology の略。情報通信技術。

IP

Internet Protocol の略。インターネットによるデータ通信を行うための通信規約。ネットワークに参加している機器の住所付け（アドレッシング）や、相互接続された複数のネットワーク内での通信経路の選定（ルーティング）をするための方法を定義する。

IPTV

放送番組等の映像コンテンツのIPネットワークを通じて配信するサービス。

IPv6

Internet Protocol version 6 の略。現在広く使用されているインターネットプロトコル（IPv4）の次期規格であり、IPv4に比べて、アドレス数の大幅な増加、セキュリティの強化及び各種設定の簡素化等が実現可能。

I T S (高度道路交通システム)

Intelligent Transport Systems の略。情報通信技術等を活用し、人と道路と車両を一体のシステムとして構築することで、渋滞、交通事故、環境悪化等の道路交通問題の解決を図るもの。

S a a S

Software as a Service の略。ネットワークを通じて、アプリケーションソフトの機能を顧客の必要に応じて提供する仕組み。

T C P / I P

Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。インターネットやイントラネットで標準的に使われるプロトコル。米国において、核攻撃で部分的に破壊されても全体が停止することのないコンピュータ・ネットワークを開発する過程で誕生。

遠隔医療

医師と医師、医師と患者との間を ICT (インターネット、テレビ電話など) を活用して、患者の情報や放射線画像などを伝送し、診断等を行うこと。

クラウドコンピューティング

データサービスやインターネット技術などが、ネットワーク上にあるサーバ群 (クラウド (雲)) にあり、ユーザは今までのように自分のコンピュータでデータを加工・保存することなく、「どこからでも、必要な時に、必要な機能だけ」を利用することができる新しいコンピュータ・ネットワークの利用形態。

コンテンツ

文字・画像・動画・音声・ゲーム等の情報全般、またはその情報内容。電子媒体やネットワークを通じてやり取りされる情報を指して使われる場合が多い。

コンピューターウイルス

電子ファイル、電子メール等を介して次々と他のコンピュータに自己の複製プログラムを潜伏させていき、その中のデータやソフトウェアを破壊するなどの害を及ぼすコンピュータプログラム。

サイバー攻撃

情報通信ネットワークや情報システムを利用した電子的な攻撃。

次世代 I P ネットワーク

現在の電話網に代わる次世代のオールパケット型ネットワーク。I P (Internet Protocol) をベースに音声だけでなく映像やデータ等の広範なマルチメディアサービスを提供することが可能なネットワーク。

情報セキュリティ

情報資産を安全に管理し、適切に利用できるように運営する経営管理のこと。適切な管理・運営のためには、情報の機密性・保全性・可用性が保たれていることが必要。

スパムメール

受信者の都合を無視し、無差別に大量配信されるメール。インターネットの公共回線に負荷がかかる点でも問題。

セキュリティポリシー

情報システムなどにおいて、安全確保のために明らかにする指針のこと。

地域情報化アドバイザー

I C Tによる地域再生を知見・ノウハウ面から支援するため、総務大臣より委嘱された者。

地域情報プラットフォーム

情報システム同士の連携を実現するために各システムが従うべき業務面や技術面のルール（標準仕様）地域情報プラットフォーム。

デジタル・サイネージ

表示と通信にデジタル技術を活用して平面ディスプレイやプロジェクターなどによって映像や情報を表示する広告媒体。

電子カルテ

診療情報（診療の過程で得られた患者の病状や医療経過等の情報）を電子的に保存した診療録もしくはそれを実現するための医療情報システム・

電子タグ

I Cチップとアンテナを内蔵したタグ。この中に個別の識別情報等を格納しておくことで、電波を利用し、接触することなく近接した距離において格納されたデータを読み書きすることが可能。

テレワーク

ICTを活用して、場所と時間を自由に使った柔軟な働き方。企業等に勤務する被雇用者が行う雇用型テレワーク（例：住宅勤務、モバイルワーク、サテライトオフィス等での勤務）と、個人事業者・小規模事業者等が行う自営型テレワーク（例：SOHO、住宅ワーク）に大別される。

電子黒板

コンピュータの画面上の教材をスクリーン又はディスプレイに映し出し、その画面上で直接操作して、文字や絵の書き込みや移動、拡大・縮小、保存等ができる機器。モニターに接続してスクリーンに投影する「ユニット型」や「ボード型」、プロジェクターと一体となった大型ディスプレイ状の「一体型」に大別される。電子情報ボードともいう。

フィッシング

金融機関等からの電子メールを装い、電子メール受信者に偽のホームページにアクセスするよう仕向け、そのページでクレジットカード番号・ID・パスワード等の個人の金融情報を入力させるなどして、個人情報をも不正に入手する行為。

ブロードバンド・ゼロ地域

ブロードバンドがまったく利用できない世帯の存在する地域。

プラットフォーム

情報通信技術を利用するための基盤となる、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク事業等。また、それらの基盤技術。

無線LAN

無線を使って構築されるLAN。通信方式は、2.4GHz帯を用いるIEEE802.11b（最大伝送速度11Mbps）や、5.2GHz帯を用いるIEEE802.11a（最大伝送速度54Mbps）等がある。

メディアリテラシー

放送番組やインターネット等各種メディアを主体的に読み解く能力や、メディアの特性を理解する能力、ICT機器にアクセスし活用する能力、メディアを通じコミュニケーションを創造する能力等を構成要素とする複合的な能力のこと。

ユビキタスネット社会

ユビキタスネットワーク技術を活用し、いつでも、どこでも、何でも、誰でもがネットワークに簡単につながる社会像。

ユビキタスネットワーク

いつでも、どこでも、何でも、誰でもアクセスが可能なネットワーク環境。なお、ユビキタスとは「いたるところに遍在する」という意味のラテン語に由来した言葉。

リカレント教育

主に学校教育を終えた後の社会人が大学等の教育機関を利用して受ける教育のこと。仕事に就きながら必要な知識や技能を習得する教育訓練を行うOJTや、仕事を一時的に離れて行う教育訓練（OFFJT）も包含される。

レセプト

保険医療機関等が療養の給付等に関する費用を請求する際に用いる診療報酬明細書等の通称。

ワンストップサービス

一か所で、または、一度の手続き・処理で、必要とする作業をすべて完了できるサービス。